

# 山梨ライトハウス

第78号

発行/社会福祉法人 山梨ライトハウス 〒400-0064 甲府市下飯田2-10-1

TEL/055-222-3502 FAX/055-233-0124 URL <http://yamanashi-lighthouse.or.jp/>

山梨県盲人福祉センター(点字図書館)  
電話/055-222-3502-223-1113(貸出専用)  
青い鳥ホーム 電話/055-252-8994  
青い鳥成人寮 電話/055-224-5060  
青い鳥支援センター 電話/055-221-1260  
青い鳥老人ホーム 電話/0553-26-6631  
青い鳥ケアホーム 電話/055-235-5566



山梨ライトハウスの理念は  
「視覚障害者の未来を照らす  
光の道標となること」です。

## CONTENTS

バリアフリーらいふ	1	今、福祉は…	7
白い杖愛護運動月間	2-3	お知らせ	8
ライトハウスニュース	4-5		
福祉祭	6		

## しあわせ運ぶ青い鳥

### バリアフリーらいふ

私はマンネリ化した日々感動を求めて映画を観に行きます。大音響、大画面を目の前にウキウキするので。

最近観た映画「八年越しの花嫁」は知らずと不平不満を口にするようになっていた私の胸に深く突き刺さり心に響きました。この映画は結婚を約束したカップルの、実際に起きた奇跡の

実話を映画化したものでした。結婚式を目前に控え突然襲いかかった原因不明の病にかかる女性と、いつ意識が戻るかわからない状態が続く中、ひたむきに介護し回復を待ち続ける男性の八年間の壮絶な日々が映し出されています。

勿論こんな奇跡が簡単に起きるわけは無く、又二人だけの力では奇跡は起きなかったでしょう。当然、恋人に限らず夫婦、親子であろうと、そんなきれいな事では済まされないので介護の

現状だと思っています。変わりない日常生活の中、いがみあったり、やり切れなさに泣きわめいたり、どうにもならない苛立ちや自己嫌悪に嘆く事も多いと思います。

でも、きっと誰しもが奇跡を願う幸せになりたいと思うからこそ頑張れるのです。

メルレルリンクの童話「幸せの青い鳥」のように、しあわせは、すぐそばの自分たちの生活の中にあるのです。青い鳥のスタッフは、そんな頑張る皆さんのお手伝いをしたいのです。

青い鳥支援センター

施設長 中島 裕子

・ご家族にほんの少しだけ慰めの時間と、利用者さんの屈託のない笑顔を。(日中一時預かり)

・困ったときにすぐ近くで相談できるよりどころ。(相談支援事業所 ヴィーヴィ)

・ほんの一瞬の「力が抜ける時間」をお届けしたいという気持ちで訪問。(ヘルパーステーション青い鳥)

青い鳥支援センターはそんな「幸せ運ぶ青い鳥」であり続けたいと願っています。



素敵な笑顔にみんなハッピー



楽しい日中一時の様子

第63回白い杖愛護運動月間 平成29年11月1日～11月30日

# 白い杖・盲導犬キャンペーン 白い杖福祉の集い

第63回白い杖愛護運動月間が11月に行われました。

1日(水)には白い杖・盲導犬キャンペーンを甲府駅、富士山駅、富士吉田市内のスーパー・イッモア赤坂店で展開し、啓発パンフレット・ふれあいの鈴等の配布と共に、目の不自由な方々を正しく理解し、協力していただけるよう呼びかけました。

5日(日)には、山梨県立盲学校を会場に「白い杖福祉の集い」を開催しました。

白い杖愛護作文・生活体験文合わせて455編の応募がありました。たくさんのご応募ありがとうございました。



知事表彰を受ける青い鳥奉仕団員



青い鳥奉仕団 (知事表彰の方々)



山本障害福祉課長のごあいさつ



受賞を待つ白い杖愛護作文受賞者



最優秀賞を受ける山宮叶子さん



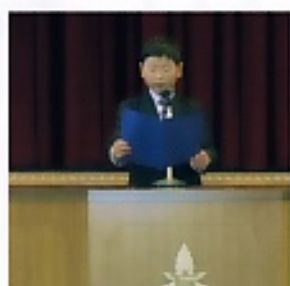
中学の部受賞者



高等学校の部表彰



生活体験文(一般の部)最優秀賞を受ける谷龍三さん



白い杖愛護作文最優秀賞の朗読



甲府駅前での白い杖・盲導犬キャンペーン開催



白い杖・盲導犬キャンペーン

白い杖愛護作文・生活体験文の受賞作品の中から、生活体験文最優秀賞の2作品を、講評と共に掲載します。

講評 山梨日日新聞社取締役論説委員長 向山文人 様

●児童・生徒の部 最優秀 山宮 叶子 様

小学校生活を振り返り校外での体験授業や修学旅行を中心に6年間の様子を具体的に綴り「体験に学ぶ大切さ」が伝わって来ました。特に「私の小学校生活は、知って、想像して、触れて、発見することの繰り返しでした」と、当事者ならではの表現が光っていました。

●一般の部 最優秀 谷 龍三 様

ペットはもとより盲導犬と暮らすという初めての体験が新鮮に綴られていました。排泄コントロールなどの戸惑いを覚えつつ、次第にコミュニケーションが取れ、家族の一員として良きパートナーとなっていく様子がよく書けていました。

# 『六年間で学んだこと』

山梨県立盲学校小学部六年 山宮 叶子

私は、小学校生活でたくさんのお話を学びました。例えば、形がわからない物は、実物を触ったりして、発見をしました。

特に、社会科の授業では、外に出て勉強することが多く、その分、たくさんのお話がありました。他の小学校と同じように、もちろん警察署や消防署、浄水場などにも行きました。ですが、他の小学校とちがなかなかな行かない場所にもたくさん行きました。社会科の授業では昔の人たちが洪水や大雨から自分たちの土地を守るために、作った榎頭や信玄堤を見学に行きました。そして、実際にのぼること、高さや幅、距離などを白杖を使って知りました。

五年生の社会では、盲学校の近くの田んぼで、田植えと稲刈りをさせていただきました。農家の方にも詳しく話を聞くことができました。刈った稲を甲府市民俗資料館で、昔使われていた足踏み脱穀機やとうみを使って、脱穀をしました。これを体験したことで、米作りの大変さや昔の米作りについて学ぶことができました。

六年生の社会では、二学期に山梨県立考古博物館に行きました。教科書に図がのついても、大きさや高さなどが分からなかった古墳に実際にのぼりました。とても高く、大きくて驚きました。昔にこんな大きなお墓があったと思うと、とてもすごいことだと感じました。小学校生活で勉強してきたことのまとめになったのは修学旅行です。二泊三日で、東京に行きました。そして、めつたにできない体験がたくさんできました。また、盲学校の修学旅

行は、電車と都バスなどを使って移動します。そのため、四年生ぐらいから電車の乗り降りを練習してきました。当日は、スムーズな移動ができました。

私が修学旅行で印象に残った体験が3つあります。一つ目は相模原市の見学です。甲府市出身の童謡園がある高田川部屋に行きました。稲古をみたり、ちゃんこを食べたりしました。事前学習で、盲学校の近くの池田小学校の土俵で相模について勉強したので、さらに深めることができました。

二つ目は、東京タワーで、展望台まで階段のぼったことです。事前学習では、タワーの模型をさわたり、設計者の内藤多仲のことについても勉強しました。当日は、高さを感じながら、階段をのぼりました。

三つ目は、人力車と水上バスに乗ったことです。東京のにぎやかさや風を間近で感じることができました。それだけでなく、さまざまな体験ができてとても楽しかったです。

私の小学校生活は、知って想像して、触れて、発見するということの繰り返しでした。ある程度の情報を本などで知り、その実物を想像して、触れる物だらけに触って、本などで分からなかったことを発見するということです。だから、これまでいろいろなことを学ぶことができました。

私が小学校六年間で一番大事だと思ったことは、本や教科書だけではなく、体験して学ぶということです。そこから学んだ知識を応用して、今後の学習でも深めたり、発見をしたいです。

# eye犬(ムーラン)と共に

富士川町 谷 龍三

私とムーランとの出会いは、二〇一五年十一月十六日でした。(富士ハートネス盲導犬訓練センターにて)私は、ペットはおろか小鳥すら飼った経験が無いので、こんな大きな犬と生活を共にする不安と戸惑いでいっぱいでした。そんな私の胸の内を察してか、無邪気に尻尾を振りながら、初めましてムーランです。そんなに緊張しないで、宜しくねと言いたげにじやれてきました。扱いに慣れていない私は、戸惑いつつ、こちらこそ宜しくと頭を撫でました。このような感じで、ムーランと生活を始める上での基本的なことを身に着けるための共同訓練が始まりました。

共同訓練は、私もムーランも初めての経験でお互いに戸惑う中、ムーランは、私に気を使いつつも自分のやるべき事はしっかりと仕事をしていました。私がムーランの動きを読み取ることがなかなか出来ず、ムーランに迷惑を掛けてはかりました。障害物、段差、曲がり角の手前で速度を落とし止まるのですが、その動きをハートネスを返して左手で読み取り備えることが、なかなかタイミングが合わず、段差に躓いたり、曲がり角を見逃したりと失敗ばかりでした。訓練士さんの適切な指導により何とかかか月間の共同訓練を終えることができました。

二〇一五年十二月中旬、ムーランとの実生活が始まりました。家の周りを歩いてみました。訓練中と違い、思うようにはいきませんが、指示を出すのですが、なかなか伝わらず、ムーランは、ふらふらどうすればいいのと言いたげな様子で私の顔を見上げました。私は共同訓練中に指導を受けたことを思い出し、仕方がない事ですけど、犬と散歩した経験もないし、号令を掛けながら歩く事もないので、私自身困惑した中で生活がスタートしました。ムーランに導かれて歩くのも大変でしたが、それ以上に私にとってストレスを感じたのは、排泄コントロールと体調の維持でした。犬についての知識が全くないので、何をどう

うして良いのか右往左往する日々が続きました。体調に関しては、元来が丈夫なようで幸いな事にこれまで体調を崩したことはなく大変に助かっています。

私が一番苦労したのが、排泄のコントロールです。散歩に出かける前に排泄(ワン、ツー、盲導犬用語)させるのですが、途中で座り込みボトン、シャワーと相手をすること度々、その都度始末をするのが大変なストレスで、ムーランと出かける事が億劫で、家に置いて出かけることもしばしばありました。フードを変えてみたり、訓練士さんに相談したりと試行錯誤を繰り返しましたが、自分の都合に合わせようとしてムーランのことを考えなかった事に気づき、ムーランの様子を見ながら、自分の都合を鑑みて排泄時を考えるようにしたと云い、最近では、巧みコントロール出来るようになりました。犬とはいい感情を持った動物です。で、しっかりとコミュニケーションをとる事で、お互いの理解を深め、信頼関係を構築し、良きパートナーとして歩んで行く事が出来るのだと思います。

私の夢は、僅かな残存視力と妻の助けを頼りに写真を撮る事が趣味で、これからは、妻に負担を掛けないようにムーランの助けを借りて写真を撮りたいと思っています。そして私は、家族をはじめ多くの人たちに支えられてこれまで歩んでこれました。ムーランとムーランを盲導犬として育て訓練をして下さった日本盲導犬協会の皆さんに感謝を忘れずに歩んで行こうと思っています。

これから盲導犬のユーザーにと考えている皆さんへ、私は、ムーランと散歩をして公共交通機関を利用し出かけた時に、正直なところ面倒だなと思う事は多々あります。そして恐怖感や不安感が無いわけではありませんが、今では、家族の目であり良きパートナーなので、ムーランがそばに居ることが大きな安心感となり、前を向き胸を張って歩く事が出来るようになりました。

# ライトハウスニュース

## NEWS NEWS NEWS

●盲人福祉センター●

### 移動ライトハウス

十二月二十三日(木)甲州市社会福祉協議会が主催する「第九回」ろうしゅう福祉まつりへ参加させて頂くために、甲州市民文化会館へ行って来ました。

当日は、雨が上がったものの肌寒い曇りの日でしたが、会場の屋外では、福祉作業所等約十店舗が販売ブースを設け、食欲を誘う空気の中、青い鳥成人寮利用者の陶芸作品や、視覚障害者用便利グッズの販売を行い、大好評を頂きました。特設野外ステージでは、保育園児による和太鼓演奏、車イスダンス、大道芸などが人目を引いていました。



音声血圧計の体験

会場の中では、点字や手話、アイマスク歩行、防災などの体験コーナーのスペースの脇に、ライトハウスのブースを設け、視覚障害者用福祉用具を展示し、視覚障害者はもちろん高齢者や地元福祉関係者の方々に、拡大読書器で新聞を読んだり、ブレストックで図書の視聴をしたり、音声血圧計などを体験して頂き、福祉用具を知ってもらうと共に、ライトハウスのPRを行いました。今後も地域の様々な行事へ出る視覚障害者へ福祉関係者などへ情報提供していきます。

●青い鳥老人ホーム●

### 年忘れ会〜ハーモニカコンサート〜

「昨年、どんな一年をお過ごしでしたか？」

一年の苦勞を忘れる為、老人ホームでは毎年盛大に「年忘れ会」を行っています。今回は、初めて「甲府ハーモニカメイツ」の皆さんをお招きしての演奏会。珍しい筆箱サイズのバスハーモニカやものさしの様に長いハーモニカがありました。五人の奏でる音は優しく、心に響く音色でした。職員によるハンドベル演奏は、「大丈夫？」と心配する声も聞かれましたが、そこは老人ホーム職員！心を三つに見事な演奏となりました。



職員によるハンドベル演奏



甲府ハーモニカメイツの皆さんによる演奏会

### 初詣

新年を迎え、二月十二日に初詣に出かけました。天気の良い青空でしたが、凜とした空気の中での初詣となりました。お参り先は恵林寺です。お賽銭を投げ、二年の安全と健康を祈りました。

その後は毎年恒例の甘酒……を期待したのですが、売店がお休みだった為「道の駅まきおか」で味噌おでんや信玄餅アイスを食べて休憩しました。ラジオで聴いた千支の石碑に興味を惹かれ、急遽「宮浅間神社」へ。自分の千支の石碑を触りました。盛りだくさんの初詣でした。



今年も良い年でありますように



恵林寺で記念撮影

●青い鳥成人寮●

### 中島知子先生クリスマス訪問

日本における盲重複障害教育を最初に受けたAさんとYさんは、青い鳥成人寮で生活しています。Aさんは七十二歳、Yさんは七十四歳になりましたが、今も点字指文字発語の個別支援を継続しています。

十二月二十三日、公益財団法人 重複障害教育研究所 理事長の中島知子先生が成人寮に来寮されました。先生は毎年クリスマスプレゼントを持ち二人に会いに来てくれます。利用者さん達は嬉しそうに頂いた服を抱きしめていました。それぞれの利用者と指文字で会話をし、Aさん、Yさんも先生にしっかりと返事をして会話をしています。点字や指文字学習を継続して行っていることを伝えると、「凄いですよね。頑張っていますね。」と先生も嬉しそうに話されています。

最後に「お元気で、さようなら。」と挨拶をすると、Aさんは手を口に持っていき、口の形を確かめながら発語で挨拶を返していました。年の瀬に懐かしい再会となり、職員も利用者も貴重な時間を持たすことが出来ました。いつも温かなまなざしで見守ってくれている中島先生に感謝し、また来年も元気な姿でお会いしたいと思います。



プレゼントを手



指文字でお話しす



# 福祉祭

今年度も山梨ライトハウスでは、十二月五日(日)に「福祉祭」を開催しました。ご来賓一般の利用者様、職員と三百名程と大勢参加して頂きました。今年も天候に恵まれるなか、開会前に甲府西幼稚園年長児による和太鼓演奏から始まり、参加者の多くの方々が心和む表情が見られていました。その後の開会式では、花形理事長の挨拶に始まり、ご来賓の方にも挨拶を頂きました。

ふれあい広場では、青い鳥ホームと青い鳥老人ホーム「合唱」・青い鳥成人寮「リズム・ダンス」の発表があり、日々練習されてきた成果が十分に発揮され、会場内の

雰囲気盛り上げて下さいました。模擬店では、人気のあんころ餅やほうとう、おでんや皮付きフライドポテト等の販売があり、長い列が出来ていました。ふれあい広場の点字教室や盲人囲碁教室もにぎわいを見せていました。昨年好評を頂いた「マッサージ奉仕体験」は、今年も大好評で昨年度同様に長蛇の列が出来ていました。

最後のお楽しみ抽選会は、参加された皆様が「一番楽しみにされている様でした。抽選番号が読み上げられると当選した方の周りは「おー」、外れた方達は「あー」などの残念そうな声があり、会場内の雰囲気

気もピークとなっていました。今年も多くの関係者にご参加、ご協力いただき「福祉祭」を盛大に終える事が出来ました。また、来年も各関係機関の皆様、宜しくお願い致します。



青い鳥ホームの発表



演奏がんばりました



青い鳥成人寮の発表



青い鳥老人ホームの発表



無料の甘酒も人気です



販売開始OK!



点字ミニ教室



縫製子まだかな



無料のマッサージ奉仕



盲人囲碁の対局



最後は合唱です



奉仕団の柱田理事長が碁を引きます



挨拶をする花形理事長



大勢きてくれました

## 川柳

(九月のライトハウス川柳会から)

浅川 和多留 選

カラオケで気分上々手をたたく

加藤 隆

朝まだき小鳥の声のいい気分

河口 竹子

一点の光りと今朝の笑み交わす

中村 洋子

晩酌で会話も弾む若い二人

細川 一

診察を終わり心も晴れる帰途

花形 幹雄

晩酌は気分かわる酒の味

高坂 康平

八十路般若気持ちで越える道

今村 晴美

登頂の気分溢るる初日の出

桑原 梅次

煮詰まった作句に妻の熱いお茶

林村 和美

## 全国グループホーム等研修会

青い鳥ケアホーム副主任生活支援員 小林 康司

平成二十九年八月二十一・二十二日、福井県でおこなわれました第二十九回全国グループホーム等研修会に参加させていただきました。全国より約八百人もの人が集まり、グループホームに関わっている人の多さを改めて感じました。研修では「障害福祉施策の動向」についての行政説明・基調講演、「グループホームで働くことは、夢があるよね」というテーマの鼎談、分科会がおこなわれました。分科会は「重度・高齢の利用者の暮らし向上を目指したグループホームを考える」に参加しました。印象に残ったこととして高齢化の取り組みがありま

す。三百六十五日医療処置が必要な利用者に対し、施設看護師等だけでは見られないので地域の訪問看護を利用していただくこと、身寄りが無い利用者に対し成年後見人制度を利用したことによりリスクのある治療の同意について後見人と連携し速やかに対応できたこと、またターミナルケアと共に、利用者がなくなつた際残った利用者のケアも大切であることなど話がありました。

青い鳥ケアホームでも、高齢化をすでに考えていかなくはなりません。より楽しく安心して生活できるグループホームであるために様々な制度について学び活用できるように努力していきたいと思えます。



2018福井国体マスコットはびりゅう君とダンス

## 駅ホームからの転落事故を防ぐために！ 目の見えない、見えにくい皆様へ 日本歩行訓練士会からのお願い

近年、駅ホームからの転落事故が後を絶ちません。先日も大阪で転落死亡事故が発生してしまいました。平成二十七年年度の視覚障害者の転落件数は、九十四件にも上っています。

単独での歩行に慣れている方や、普段から使い慣れている場所で転落事故が起きています。是非よく使う駅の環境を、歩行訓練士等と一緒に、一度確認してみてください。

※日本歩行訓練士会とは？

日本歩行訓練士会は、視覚障害者の歩行移動に関する専門家の集まりです。歩行訓練士は、白杖の選定・基本操作から、単独での歩行や誘導されるべきの方法等、安全な歩行を行うための技術を提供しています。バス乗降や電車乗降の方法、駅ホーム上での安全な移動方法についても訓練を実施しています。

### 駅ホーム上で確認していただきたいこと

- ・自分がよく使うホームの形状や点字ブロックの敷設状況などについて再度確認してください。
- ・普段と異なる状況（体調や環境）が有れば、立ち止まり駅員や乗客に援助を依頼してください。
- ・白杖を浮かさず、しっかりと左右に振り、床に接地して歩いて下さい。
- ・乗降時には必ず白杖で床が有ることを確認してから足を出してください。

歩行訓練についてのご相談は、  
社会福祉法人 山梨ライトハウス 青い鳥成人寮  
電話 055-224-5060  
歩行訓練士 野中・金山

## 第5回朝日地区 健康と福祉のつどい

青い鳥ホームでは、朝日小学校で開催された「朝日地区健康と福祉のつどい」に参加しました。バンド名グスハウスの演奏を中心に座ったままできる体操など行われ楽しいひと時を過ごしました。朝日地区の皆様ありがとうございました。



素晴らしい演奏でした

## 山梨放送様から 点字カレンダーのご寄贈

11月17日山梨放送常務取締役ラジオ本部長の篠原公男様より、小鳩文化カレンダー300部のご寄贈がありました。2018年のカレンダーは「日本の名城」です。写真と点字で詳解されています。視覚に障害をお持ちの方々そして施設利用者の皆さんにお届けしました。



常務取締役ラジオ本部長の篠原公男様(右)より  
花形理事長へ点字カレンダーが贈られる



「日本の名城」  
点字カレンダー

## 松の花基金様から 業務用衣類乾燥機へ助成

青い鳥成人寮では、社会福祉法人松の花基金様から助成を賜り、業務用衣類乾燥機を買い替えました。20年近く使用していた乾燥機に不具合が生じていましたのでとても助かりました。

松の花基金様は、知的障害者福祉事業への助成を長年続けておられ、お名前の由来は、松の花のように、一つひとつは小さなものでも集まれば大きな善意となるということだそうです。大切に使用いたします。ありがとうございました。



## 赤い羽根共同募金会様から 配分品

赤い羽根共同募金会から、盲人福祉センターへ「テキストデジタイズ制作機材整備事業」への助成があり、ノートパソコンとスキャナーを3台ずつ購入しました。



## 点訳・音訳奉仕員養成講習会が修了しました

今年度の点訳奉仕員の修了者は10名、音訳奉仕員の修了者は12名です。

これから、それぞれ練習を積み重ねて実践に入ります。皆さん今後とも、図書製作へのご協力をよろしくお願いいたします。



点訳講習受講者



音訳講習受講者